

# 国鉄・三里塚を基軸に 総反撃にうつてよう

## 大会速報 第1日目



83. 10. 6

No. 1460

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八 (動力車会館)  
(鉄電) 二九三五(六) (公衆) 〇四七二(22) 七二〇七

## 第8回勤労千葉定期大会開催される

勤労千葉第8回定期大会は10月5日、会場の千葉グランドホテルを満員にする代議員および家族会をも含めた傍聴者二二〇名が参加するなかで、10時15分開会されました。

大会第一日目、午前中は、多くの来賓の方々あいさつを受け、午後からは経過報告をめぐり活発な討論を展開しました。

### 議長団に鶴岡、永島西代議員

西森執行委員の席会のあいさつに続いて、重見議運委員長が大会成立を高らかに宣言し、ただちに議長団選出に移りました。

議長団には、鶴岡(勝浦)、永島(津田沼)両代議員が選出され、大会書記局指名、スローガン案提起に続き、今日までの10年間に三〇〇の先頭にたつて闘いぬき今大会をもって退任する奥川委員長からのあいさつをうけました。

### 勤労千葉の真価を發揮し前進しよう

#### 奥川委員長あいさつ

奥川委員長は、「本大会は88パイプライン供用開始ー勤労千葉破壊攻撃が本格化する中で、私達が労働連帯を堅持し、反合・三里塚路線を強化して闘いぬく方針を決定する重要な大会です。私達の進むべき道は明らかです。戦争にむけた軍事大国化、改憲の攻撃をうち破り、反動中曾根内閣を打倒する闘いに決起しなければなりません。勤労千葉の真価を發揮する絶好の機会です。政府・権力・当局、勤労革マルの組織破壊攻撃をうち破り、10・9三里塚に総決起し、それと固く結合して59之ダイ改阻止をはじめ国鉄反合決戦に断固としてうって出よう」との鮮明な闘いへの決意を明らかにしました。



代議員・傍聴者220名が結集して開会。「団結を固めて反撃にうつて出よう」と決意あふれるあいさつにたつ奥川委員長。(10月5日、千葉グランドホテル)

### 各界より多くの来賓・メッセージ

来賓のはじめに、千葉県労連を代表して清水事務局長は、「勤労千葉のような結束と団結があれば、春闘も負けまいだろうし権利も守れる」と激励のあいさつをされました。

つづいて、千葉県交運本吉議長(国労千葉地本委員長)が、「兄弟組合の国労としてあいさつできることをうれしく思います。四月の中江選挙の労選委員長を務めてみて皆さんの団結と活動力のすばらしさを見ました。共闘を一層強化し、反撃へのチャンスを開いてついでにこう」と連帯のありさつをされました。

さらに全金本山労組の長谷副委員長より、「勤労千葉と本山の闘いが同じ質をもって、全国の戦術的労働運動を牽引する先頭に立ち続けよう」との連帯・共闘のありさつをうけ、又、勤労千葉顧問弁護士の菅野弁護士からも、「勤労千葉の闘いはますます重要性をましています。今後、戦術性を保持して闘って下さい」との激励のありさつを受けました。(裏へ)

# 空港反対同盟より、北原氏、郡司氏 かけつけ激励 10.9総決起 を訴える

二期攻撃の切迫、脱着派の「話し合い」裏切り路線との対決の中、10.9現地大集会の成功へむけバク進している三里塚より北原事務局長と郡司婦人行動隊長がかけつけ、反対同盟を代表して連帯のあいさつと10.9集会への総決起を訴えました。

北原事務局長は、「動労千葉の大会は全国の人々が熱いまなざしで見守っている。成田市議会で日本共産党と空港につながる自民党反対議員の発議により私に対して、議員辞職勧告決議」なるものをおこなってきたが、私達は私利私欲で三里塚を叩ってきたのではない。生活と環境を破壊し全人民を戦争にまきこむ軍事空巻を許せないからだ。ゆれゆれは三里塚を身にかけて叩ってきたし、動労千葉と共にあったからこそ叩いた。代償を求めるとすれば、それは、『元の山野にかえせ』という事以外にない。動労千葉が新役員体制のもと三里塚との共闘、労働者階級としての自らの解放をどう叩いていくのか注目している。動労千葉は全国労働者人民の希望の星でなければならぬと思います。10.9に総決起しよう」と熱く訴えました。

郡司婦人行動隊長は、「脱着派の発生で本年三月に同盟が分裂し、動労千葉のみなさんと同じようにしんどさを味わいました。しかし、今やらねば敗けてしまうという覚悟がみにもえて、10.9にむけて全国キャンペーンで三里塚の正当性を訴えています。『非妥協』の原則を死守して、今後とも動労千葉と共に闘いぬきたい」との決意あふれるあいさつで、まがかに迫った10.9三里塚現地大集会への総力結集を訴えました。

## 「三里塚・国鉄」で、反動中曾根の 戦後の総決算、攻撃をうちくたけ

六月参院選でみごと革新の議席を死守した参議院議員糸久八重子氏よりのあいさつをうけました。

議事は、山口副委員長から「一般経過報告」が一時向半にわたって提案された後、一担休

憩に入りました。

午後の冒頭、動労千葉支援基金世話人の高島喜久男氏が登壇し、「中曾根は、戦後の総決算」を叫んで攻撃をしかけてきているが、その一つの軸をなす国鉄労働運動もまた戦後の総決算が向われるような攻防に直面している。今が、労働運動として勝利することができるかどうかの分かれ目です。18年向叩いてくる三里塚や反核・反戦を叩かないで国鉄労働者の利益がはかれるとは思いません。そのことは中江選挙の勝利で証明されています。大会の成功を祈念します」とあいさつされました。

つづいて動労千葉顧問弁護団の葉山弁護士が、「動労千葉の分離独立は、四年後の現在皆さんの顔を見て正しかったと確信できます。国鉄、三里塚の叩きは不可分一体。弁護団は全力を尽して進歩的な動労千葉の叩きの歴史の一環に加わりたいと思います」とあいさつされました。

また、多くの檄電・メッセージが紹介されました。

## 確信あふれる討論をへて、経過報告(一) 般・交差・会計(等)等を満場一致で承認

大会は会計報告が行われた後、経過報告の質疑・討論に入りました。

討論は、津田沼・幕張支部代議員三名より各々、中江選挙闘争の成果と教訓について、6.12デモあげ告訴や革マル分子の送り込み等動労本部革マルと権力・当局一体の組織破壊策動について、検修下回り合理化を中心とする反合叩争の教訓、職制改正について、名札着用の強要を粉碎した教訓、10.9三里塚集会の重要性等について意見が出されました。そして討論の最後に山口副委員長の答弁、中野書記長からの総括答弁で締めくくられ、この一年間の叩いを確信もって総括していききました。

遅れかけたつづいた参議院議員小川国彦氏よりあいさつをうけました。

その後、大会は「一般経過報告」「協約協定締結」「会計・会計監査報告」等々について満場一致で承認しました。そして直ちに、吉岡執行委員より「一九八三年度運動方針(案)」が提案されてオ一日目の議事を終了しました。

(オ一日目大会速報了)